



S.Suzuki

サマースプリントシリーズ

THE IBIS SUMMER DASH

第25回 アイビスサマーダッシュ (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円
付加賞 630,000円 180,000円 90,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳55^{kg}・4歳以上57^{kg}、牝馬2^{kg}減、2024.7.27以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3^{kg}増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、牝馬限定GⅡ競走またはGⅢ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増、2024.7.26以前のGⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.8.3 新潟 晴・良 芝1000^m (国産) (特指)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位 (600 ^m)	上り (600 ^m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑥	ビューロマジック	牝4	55	C.ルメール	53.7	11	31.3	446(-)	4.6②	安田翔伍(栗東)	104
2	⑬	ティエムスバード	牝6	56	斎藤 新	クビ	1	32.1	502(+6)	3.7①	小橋研介(栗東)	105
3	⑩	ウイングレイテスト	牝8	58	松岡正海	½	7	31.7	500(+4)	24.5⑩	畠山吉宏(美浦)	107
4	⑫	カルロヴェローチェ	騾5	57	丸山元気	¾	2	32.2	500(-4)	8.0④	須貝尚介(栗東)	103
5	⑪	デュガ	騾6	57	江田照男	ハナ	7	31.8	492(+2)	33.2⑪	森 秀行(栗東)	
6	⑨	モズメイメイ	牝5	56	高杉聖麒	アタマ	5	32.0	472(±0)	4.9③	前川恭子(栗東)	
7	⑦	ショウナンハクラク	牝6	57	三浦聖成	1¼	15	31.4	478(+6)	90.5⑯	松下武士(栗東)	
8	②	ファロロジー	牝6	55	吉田 豊	½	12	31.8	472(+2)	274.0⑩	中館英二(美浦)	
9	⑤	ブーケファロス	牡5	57	菅原明良	クビ	15	31.5	448(±0)	13.1⑥	清水英克(美浦)	
10	②	ニシノコニヤック	牝6	57	菊沢一樹	1¼	13	31.9	450(-8)	64.2⑫	伊藤大士(美浦)	
11	④	クムシロコ	牡7	57	杉原誠人	クビ	14	31.8	470(+2)	24.1⑨	千葉直人(美浦)	
12	③	カフジテラゴン	牝6	55	戸崎圭太	½	5	32.6	464(±0)	20.4⑦	武 英智(栗東)	
13	①	スコロピオン	牡4	57	武藤 雅	1¼	17	31.8	478(+2)	143.6⑮	武藤善則(美浦)	
14	④	シロン	牝6	55	国分恭介	¾	2	33.1	524(-2)	144.2⑰	小栗 実(栗東)	
15	⑪	エランティス	牝5	55	加藤祥太	½	2	33.2	494(+2)	70.2⑱	杉山晴紀(栗東)	
16	⑧	コランビート	牝4	55	津村明秀	クビ	10	32.8	454(+2)	10.1⑤	加藤士洋八(美浦)	
17	⑧	ニノトキメキ	牝5	55	今村聖奈	1¼	7	33.1	490(+2)	23.6⑧	小手川準(美浦)	
18	④	キタノブレイド	牡6	57	小林脩斗	5	17	33.1	472(-6)	244.2⑲	萱野浩二(美浦)	

単勝⑥460円(2^{kg}) 複勝⑥200円(3^{kg}) ⑬150円(1^{kg}) ⑩440円(8^{kg}) 枠連③-⑦780円(3^{kg})

馬連⑥-⑬1,200円(2^{kg}) ワイド⑥-⑬520円(2^{kg}) ⑥-⑩1,670円(22^{kg}) ⑩-⑬1,310円(16^{kg})

馬単⑥-⑬2,330円(5^{kg}) 3連複⑥-⑩-⑬7,110円(19^{kg}) 3連単⑥-⑬-⑩25,830円(56^{kg})

5重勝②①⑩⑤⑥5,446,900円(94票) 対象競走：中京6R／新潟6R／札幌11R／中京7R／新潟7R



通過タイム： 600^m 800^m
32.0 - 42.6

上り： 800^m 600^m
42.0 - 32.0

アラカルト

- ・C.ルメール騎手はアイビスサマーダッシュ初勝利。JRA重賞は本年6勝目、通算165勝目
- ・安田翔伍調教師はアイビスサマーダッシュ初勝利。JRA重賞は本年3勝目、通算15勝目
- ・アジアエクスプレス産駒はJRA重賞通算3勝目
- ・4歳馬の勝利は24年モズメイメイに続く通算8回目
- ・牝馬の勝利は20年ジョーカナチャン以降6年連続、通算18回目
- ・芝1000^mのレース初出走の馬の勝利は24年モズメイメイに続く通算9回目
- ・非抽選馬 3頭(オリアメンディ、シュラフ、マジカルガール)

ピューロマジック Puro Magic

牝 鹿毛 2021.2.18生
北海道新冠町 村田牧場生産
馬主・株スリーエイチレーシング 栗東・安田翔伍厩舎
馬名意味・聖なる、純粋な(西)+可能にすること

カスバースカイゴールドCAN系 F20

アジアエクスプレスUSA Asia Express 栗毛 2011	Henny Hughes 栗毛 2003	Hennessy
		Meadow Flyer
メジェ尔ダ 鹿毛 2013	Running Bobcats 鹿毛 2002	Running Stag
		Backatem
	ディーブインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA
		ウインドインハーヘアIRE
	メリュージュ 鹿毛 2006	フレンチデピュティUSA
		メジェール

5代までのインブリード: Storm Cat S4×M5 Deputy Minister M4×S5
Hold Your Peace S5×M5

INTERVIEW

村田康彰専務(村田牧場)

陣営の努力が結果につながりました

昨年の春までは天性のスピードで成績を残してきましたが、陣営からは今後を見据えて抑える競馬を覚えさせたいと聞いていました。その努力がこの結果につながったのだと思います。次の目標はスプリンターズSだと思いますが、いまのピューロマジックなら昨年(8着)とは違う結果を出してくれることでしょう。無事を願うと同時に、楽しみにもしています。



K.Miura

躍への「滑走路」としたい。

非力なスピードを持つ本馬は3歳の昨年、逃げの戦法で葵S、北九州記念を連勝。その後は逃げて馬群に呑み込まれるレースを重ねたが、意識的に「抑える競馬」を試みられたドバイのアルクオッススプリント(直線競馬)では、落鉄や不利を乗り越えて5着に追い込み、脚質転換のメドを立てた。天性のスピードを差し脚として爆発させ、レコードタイで勝ち切ったこの日の走りは、今後への期待を大きく膨らませるもの。新潟の長い直線をさらなる飛躍への「滑走路」としたい。

父アジアエクスプレスUSA

中央、地方12戦4勝(朝日杯フューチャリティS^{G1}、レパードS^{G3}、スプリングS^{G2}2着、アンタレスS^{G3}2着、名古屋大賞典J³2着)、最優秀2歳牡馬、17年から供用

〔代表産駒〕ピューロマジック(本馬)、ドンインザムード(レパードS^{G3})、ソロユニット(エーデルワイス賞J³)、ワールドタキオン(福島民友C・L)、ブレイクフォース(BSN賞・L)、ムエックス(さきたま杯J²2着)、ドンアミティエ(函館スプリントS^{G3}3着)、エンテレイア(東京スプリントJ³3着)、キタノエクスプレス(北九州短距離S^{OP})、メディーヴァル(後出)

母メジェ尔ダ

北海道新冠町 村田牧場生産 中央11戦1勝(ファンタジーS^{G3}2着)

メディーヴァル(18 馴父アジアエクスプレスUSA)中央36戦4勝(皐駄天S^{OP})、障害1戦0勝

バグダダス(20 牡父マジエスティックウォリアーUSA)中央18戦4勝(タイキシャトルC) 〇

ピューロマジック 本馬(21 牝父アジアエクスプレスUSA)中央13戦5勝(アイビスサマーダッシュS^{G3}、北九州記念S^{G3}、葵S^{G3}、マーガレットS・L2着)、首1戦0勝 獲得総賞金152,040,000円

メロディーロード(22 牝父ミスターメロディUSA)中央2戦0勝

(24 牝父レイデオロ)

(25 牝父サートウルナーリア)

※19(前年種付せず)、23(流産)

祖母メリュージュ

北海道新冠町 村田牧場生産 中央3勝。22年用途変更

メリオール(12 牝父キングカメハメハ)地方0勝、メルテッドハニー(マーガレットS・L2着)、タイセイブリリオ(江戸川S、知多特別)の母

メジェ尔ダ(13 前出)

ストレルカ(16 牝父ヘニーヒューズUSA)中央1勝

曾祖母メジェール

北海道新冠町 村田牧場生産 中央5勝(天王山特別、白鳥大橋特別)、10年死亡メリュージュ(06 前出)

クロワラモー(07 牝父スペシャルウィーク)中央3勝(宇治川特別)

母の父ディーブインパクト

北海道早来産 中央、仏12勝(ジャパンC^{G1}、三冠、有馬記念^{G1}、宝塚記念^{G1})〔BMS代表産駒〕キセキ(菊花賞^{G1}、父ルーラーシップ)

鮮やかな差し切りを決め重賞3勝目

従来の開幕週から夏開催の2週目に移設されたアイビスサマーダッシュには、モズメイメイ、ウインググレイテスト、テイエムスバーダと、昨年の1、3着馬が揃って参戦。なかでも5月に同舞台の皐駄天Sを完勝した後、ここに照準を定めていたテイエムスバーダが1番人気の支持を集めた。しかしその前に立ち回りはだつたのは対抗候補と目されていたピューロマジック。コーナりのない直線競馬で新境地を開拓した4歳牝馬が重賞3勝目を挙げた。

レースを先導したのは外めの枠から意欲的に飛び出したテイエムスバーダ。楽な手応えで外ラチ沿いのポジションを確保したカルロヴェローチェが途中

切りまであと一歩と迫ったものの、ピューロマジックはこれを凌駕する末脚を発揮。クビ差の接戦を制し、鮮やかな差し切りを決めた。

からこれに並びかけ、雁行した2頭が10秒台のラップを刻む。真ん中の枠から徐々に外へ持ち出したウインググレイテストがその直後を追走。大外枠を引いたものの、序盤のダッシュが見劣ったモズメイメイは、先行集団の内へ進路を切り替え、追撃にかかった。